

二號ヲ以テ准官等制
教育上全體ニ及ヒ振
揮ノ如ク准官等御制
教員ノ首座ニ列席スル
從前ノ體姿ニ復スル
惟候通リ校長及訓導
御指揮面ニ對シ不都
又ハ開申スヘキ儀ニ
醫學ヲ教授スル向モ
ニスルモノニ付貴省
候補教育令其他御連
繫職ニ涉リ候條右取

死亡 二百〇七人
死亡 二百六十五
死亡 百四十八人
死亡 二百二人
死亡 二百六十七
死亡 百五十八人
内務省衛生局

宮司 内藤 利明
秘書 松島 善讓
水原 宏遠
原口 斜水
位 高山 一祥
財部 荒

正七位 松田金次郎
正八位 池田猪之助
太郎 弓崎兼直
盡力其功不少候ニ付

後藤普植
齋藤勇吉
中谷梅吉
酒井德藏
見聞書在付ニ候

○七月二十八日分
三雲四月若磨
風ニ國王ノ志厚ク義ニ國事多難ノ時ニ際シ屬情盡力功勞
不少依テ特旨ヲ以テ正七位ニ被叙候事
叙正七位
三雲四月若磨

時事新報

韓地死傷者ノ扶助

讀者ハ必ズ記憶セラル、ナルベシ本年三月卅一日朝鮮元
山津居留ノ我人民等安邊府外遊歩ノ際韓人ニ襲撃セラレ
一行中ニ在リシ本願寺ノ蓮元憲誠氏ハ其場ニ殺サレ大倉
組ノ兒玉朝次郎三義會社ノ大淵吉威ノ二氏ハ重傷ヲ負ヒ
韓ニ居留地ニ脱歸スルヲ得タリ當時我輩ハ此事變ニ關ス
ルノ處分ヲ論シ我政府ハ速ニ花房公使ニ訓令ノ朝鮮政府
ニ談判シ大ニ各居留地ノ遊歩規程ヲ廣メ死傷者家族ノ扶
助料ヲ出ス等ノ事ヲ要求セシムベク又我政府ニ在テハ急
ニ各居留地ノ警備ヲ増ス可シト切ニ之ヲ希望シタリシト
雖世間我輩ト意見ナ異ニスルノ論者多クテ兎角ニ穩
便論ヲ主張シ我居留人民ヲ殺傷シタルハ無知ノ頑民共ナ
リ之ヲ懲スモ以テ我手柄トスルニ足ラズ或ハ死傷者ノ爲
メニ扶助料ヲ韓廷ニ要求スルハ利ヲ貪ルノ嫌ヒモアリ唯
須ラシ堪忍ス可シト云ヒ我政府ニ於テモ或ハ此堪忍主義
ヲ執ラレタル故ニヤ當時安邊事變ニ關シ左述ノ議論アリ
トモ聞カス花房公使モ此事變後元山津ヨリ發シタル第
一ノ郵信ガ東京ニ達スルヲモ待合セ得ザリシ程ノ日取ニ
テ四月二十六日東京ヲ發シ漢城赴任ノ途ニ就キタリ此時
我輩ハ又大ニ堪忍主義ノ朝鮮政略ヲ非難シ今ニ及テ朝鮮
人民ノ頑迷ヲ懲ラシ當時ノ如キ事變ヲシテ後日ニ再起セ
シメザルノ工夫ナカレ可ラズ一回ノ乱暴ヲ堪忍シ二回ノ
乱暴ヲ堪忍シ彼ヲ早ク其非ヲ知ルノ方便ナカラシメハ
遂ニハ流石ノ穩便家モ堪忍ス可ラザル大乱暴ヲ働キ爰ニ
始メテ一時ニ大懲罰ヲ行フノ必要ヲ見ルニ至ルヲアルベ
ク斯ノ如キハ則チ小弱ノ朝鮮ヲ放ルノ其頑陋ノ所業ヲ恣
ニセシメ惡積リ罪成ルニ及テ速ニ其罪惡ヲ鳴ラシ止ムテ
得ズ苛酷ノ膺懲ヲ爲スノ嫌ヒアリテ徒ラニ韓廷ノ疑懼ヲ
増スベク甚ダ失當ノ政略ナルベシト論駁シタリト雖ヒ言
遂ニ聽カレズ花房公使渡韓後安邊事變ニ關シテハ更ニ何等
ノ沙汰モナカリシガ居ルニ二閱月七月二十三日ニ至リ漢
城ノ乱兵忽チ我公使館ヲ襲撃シ我ガ死傷スル者十餘名天
皇陛下ノ代理者タル公使其人ニ對シ石ヲ投テ亦ヲ加ヘン
ト述ビタルヲ實ニ堪忍ス可ラザル大乱暴ナリ此期ニ及テ
モ尙ホ堪忍論ヲ主張ノ止ザル者アリシト雖ヒ最早斯ル愚
說ニ從フ可キニ非ズ遂ニ軍艦兵士ヲ派遣スルノ騒動トナ
リタルヲ我輩ノ前首圖ラズモ今日アルテ深言シタルノ議
トナリ我輩ノ遺憾國ノ不幸實ニ之ヨリ大ナルハナキナリ
然ルニ不幸中ノ幸ナルハ漢城ノ事變ニ付テハ政府ノ政略

并ニ花房公使ノ談判誘引等大ニ其當ヲ得タルヲ以テ事起
テ平和ニ歸シ東洋全面ノ國運ニ關スル此大事ノ一段落ヲ
得リ謝罪條約ノ諸條一モ固然スヘキモノナシ就中朝鮮政
府ヨリ五万圓ヲ出シ我死傷者ノ家族ヲ扶助スルガ如キハ
本人ノ不幸ヲ憐レシ全國兄弟ノ情ヲ慰スルニ欠ク可ラザ
ル緊要事ナレバ我輩ハ一日モ速ニ其實施ヲラント希望
スルナリ然ルニ今我政府ガ此金圓ヲ配當スルニ當リ我輩
ガ一見セシコトヲ欲スルモノハ其死傷者ノ名簿ナリ或ハ又
此名簿ノ外ニ今一ツ朝鮮ニテ死傷シ扶助ヲ受ク可キ者ノ
名簿アルヤ否ヲ知ラント欲スルナリ彼ノ謝罪條約中扶助
料ニ關スルノ條ニハ單ニ死傷者ノ家族ヲ扶助スル爲トノ
ミアルヲ以テ十分ニハ分明ナラズト雖ヒ此死傷ト稱スル
ハ唯此度ノ事變ニ際シ七月廿三廿四ノ兩日漢城并ニ仁川
府ニ於テ死傷シタル人々ノミヲ指ス者ニテ三月卅一日安
邊ノ變ニ死傷シタル者ハ此數ニ加ラザルコトナラシカ或ハ
又安邊ノ死傷者ハ此條約ノ死傷者中ニ合著セズト雖ヒ我
政府ニ於テハ此條約中ノ死傷者ヲ扶助スルト同時ニ安邊
ノ死傷者ヘモ相當ノ扶助ヲ給シ別ニ其償ヲ朝鮮政府ニ要
求セザルコトニ決定シアルモノカ我輩未ダ其如何ヲ知ラザ
ルナリ然レニ其方法ノ如何ニ拘ラズ安邊ノ死傷者ニシテ
相當ノ扶助ニ漏ルコトナキハ我輩ガ斷テ信スル所ナリ如
何トナレハ漢城仁川ノ死傷者モ安邊ノ死傷者モ其人員ノ
多寡ニコソ相違アレ死傷ノ性質ニ於テハ正シク同一ニシ
彼此ノ區別ナシハ乱民ノヲメ一ハ乱民ノヲメ共ニ不幸
ノ殺傷ヲ蒙リタル者ニシテ其扶助ヲ要求スルノ權理ハ兩
者ノ間毫モ輕重アルコトナシ世間偶々事理ニ通セザルノ人
ハ或ハ兩者ノ相同シカラザルヲ疑ヒ一ハ官吏ノ死傷ニシ
テ一ハ尋常人民ノ死傷ナリ官吏ノ死傷ナランニハ朝鮮政
府ニ迫テ扶助料ヲ給セシムヘキモ尋常人民ノ死傷ナラン
ニハ自家自カラ自家ノ事ヲ幹スベク政府ノ與リ知ルモノ
ニ非スト云フ者モアラシカナレド、コト以テノ外ノ懸見
ナリ我政府ガ五万圓ノ扶助料ヲ要求シタルハ天皇陛下ノ
臣民タル一個人ノ資格ヲ具スル死傷者ノ扶助ヲ要求セ
ルモノコト決シテ官吏ノ恩給金ヲ償ハシメタルニ非ズ加
之漢城仁川ノ死傷者中ニハ私費留學生ノ如キ尋常一様ノ
人民モ加ハリ居ルニ條約中ニハ日本官吏ノ死傷者ヲ扶助
スルコトノ明文ナキヲ見レハ天皇陛下ノ臣民タルニ官
私ノ區別ナキハ無論タル可シ故ニ我輩ハ未ダ扶助料ヲ受
ク可キ死傷者ノ名簿ヲ一見セザルヲ以テ其人名ハ其々ナ
リト明言シ能ハスト雖ヒ朝鮮政府ヲシテ其償員ヲ償ハシ
ムルト否トニ拘ラズ必ズ我政府ハ天皇陛下ノ臣民ニ官
私ノ區別ヲ爲サズ安邊ノ死傷者モ漢城仁川ノ死傷者モ同
一様ニ扶助セザル可キハ事理ニ據テ明々白々述ベ置ル所
ル可キモノナラズト信スルナリ